

農業版事業継続計画書 簡易版

策定・改定日	令和3年11月30日	従業員・家族共有日 (原則策定・改定日から1ヶ月以内)	令和3年12月30日	次回改定予定日 (原則1年毎に改定)	令和4年11月1日
--------	------------	--------------------------------	------------	-----------------------	-----------

想定リスク	落雷・停電時のビニールハウスの電力供給停止、大雪による倒壊、台風・竜巻時の風害、大雨時の水害
-------	--

1. 基本方針

緊急事態発生時には、以下の基本方針に則り対応する。

1	従業員の雇用を守る。(身の安全確保)
2	地元の安全を守る。
3	自社の農産物をまもる。

2. 重要業務と目標復旧時間

以下の業務の復旧を最優先とし、目標復旧時間内の復旧を目指す。

重要業務	ビニールハウスの稼働の確保(①予防活動、②電力代替手段の確保、一部手動で対応)
目標復旧時間	24時間(冬場は暖房機、夏は水の問題)

3. インフラ等の被害による重要業務への影響と対応(代替手段等)

種別	影響	対応(代替手段等)
電気	ハウスの稼働停止、揚水ポンプの停止による水供給停止	①自家発電機による電力確保。②手動運転・操作。
ガス	-	-
水道(農業用水含む)	電力供給停止による灌水ポンプの停止。	自家発電機による電力確保。
情報通信	携帯電話が使用不可	指定場所の避難、現地確認。
交通	自動車を使用不可。	トラクターで移動、配送。
ほ場等	ビニールハウスの稼働停止(電力利用分)、作業場(出荷調整所)使用不可	自家発電機による電力確保。不可なら人力対応。
その他	①ビニールハウスへの直接の落雷②倉庫への浸水③積雪による倒壊	落雷対策(避雷針設置、保険加入)、融雪対策。

4. 事前対策の実施状況

分類	項目			
ヒト	安否確認手段	携帯電話、LINE・Facebook Messenger	連絡体制	責任者:(正)A氏、(副)B氏
	避難場所	①ハウスの横の田んぼ、②共和小学校グラウンド		
	欠員時の対応	携帯電話、Facebook等で連絡(通話は日本語(片言)、文字はGoogle翻訳利用)		
	その他	連絡先の整備(電話番号一覧、SNSグループの構築)、人が増えてくれば安否確認システムを検討		
モノ	設備使用不可時の対応	停電対策:自家発電機、手動対応準備 積雪対策:融雪時の行動計画整備		
	調達支障時の対応	仕入先の状況・他の原材料・資材等についても検討しておく。		
カネ	手元資金	農協は月末翌月末払い、農作物は収穫後等。手元資金に余裕あり(数カ月分)。		
	その他	JAの支払猶予、短期借入金にて対応予定	備考	農業の保証協会があり、比較的OKしてくれる。
セーフティネット	保険加入	ビニールハウス、トラクター、コンバイン、麦刈り機、田植機等の大型設備の損害保険の加入済		
	その他	2年後(2023年)あたりに収入保険に加入を検討。	備考	各種損害保険、生命保険は加入済み。
情報	重要情報保管場所	外付HD、クラウド(統合環境制御システムのクラウド化、Dropbox活用等)		
	IC等使用不可時の対応	統合環境制御システムのデータ、出荷データ(Excel)		
	その他	統合環境制御データのバックアップ:メーカー等へ問合せ		
地域連携	消防団、他			

5. 緊急時の体制

総括責任者(代理者)	事業継続担当責任者(代理者)
D氏	A氏(C氏)

【初動対応フェーズ】(目安:緊急事態発生~24時間以内)

○状況確認

確認対象	担当者	
役員・従業員	家族を含めた安否確認	D氏
建物・設備	ITを含む状況	各担当者
その他事業資産	肥料・飼料・農業等の在庫	A氏
取引先	状況確認	D氏
インフラ	電気・ガス・水道・交通等の状況	A氏
その他	農機具等	各担当者

○備蓄品の状況

品名	状況	備考	数量
救急箱	各軽トラにあり	その他:ガソリン	20L・5L各3本
飲料水	休憩所に保管	その他:軽油	450Lタンク
食料	休憩所に保管	その他:灯油	20L5本
ヘルメット	全員分確保	その他:カセットコンロ	2つ

○出勤・帰宅ルール

状況	原則ルール
出勤時	ハウスの横の田んぼに集合。
在宅時	原則在宅。被災時は上記避難場所へ。
その他	就業時外:Facebookメッセージにて連絡。

【事業継続フェーズ】(目安:初動対応完了後~)

○重要業務継続の具体的方法

対応手順	担当者
【初動対応】 ・停電時は自家発電機に切り替える。 ・電源が使えない場合は手動にて対応する。	D氏 各担当者
【初動対応後】 ・復旧可否の判断を行う(~48時間) ・復旧、継続不可の場合は収穫する。(~48時間) ・取引先と状況を共有。(~48時間) ・今後開拓する取引先が事業停止等の場合、高崎地方市場へ出荷する。(随時)	D氏 各担当者 D氏 D氏
・資材や農業、肥料等について、既存取引先からの入荷が難しければ、農協からの仕入に切り替える。(随時)	D氏
・ハウス修理が必要な場合、ハウス施工業者へ修理を依頼する。各種保険の手続きも行う。	D氏
・PCの購入、システムの復旧手配(バックアップからデータ読込等を行う業者への依頼等)を行う。	D氏、A氏
・農機具メーカー等へ農機具の修理を依頼する。 ・必要に応じて資金調達(借入手続)	D氏 D氏

BCP策定後の運用 日頃から緊急時における対応を家族や雇用者と話し合ったり、実際に訓練を行っておくことが重要であり、そうすることで緊急時における各人の行動が明確になり、復旧までの時間を短縮できます。また、「1年に1回は見直す」「策定したら1ヶ月以内に皆で確認する」などルールを決めて、運用を心掛けることが重要です。